

1 事業の目的

公文書館では、平成18～31年度に実施した「新鳥取県史編さん事業」の成果や収集した歴史資料等を有効に活用しつつ、関係機関と連携しながら、ふるさと教育や市町村事業の支援、収集資料の公開、県の施策に活用できる調査研究等を実施し、郷土の歴史文化を担う人材の育成や県民の「ふるさと鳥取」に対する愛着や誇りの醸成を図ることを目的に、令和2年度から「ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業」を実施しています。

その一環として、新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史・民俗資料の学校教育での活用を図るため、教科書の内容に即した郷土資料データの提供や、授業で活用できる教材づくり等を進め、それを利用しやすい形で提供することによって、生徒や教員が郷土の歴史を手軽に学び、理解を深める機会を創出することを目的に、教育委員会と連携しながら「新鳥取県史を活用した学習教材開発事業」に取り組んでいます（事業期間は令和2年～6年）。

事業を実施するにあたっては、魅力あるテーマを選定し、教材内容の充実を図ったほか、デジタル化の導入に伴う教育環境の変化や、教員の多忙化が進む教育現場の実態にも対応できるような教材のあり方、発信の仕方を考えました。また教材を作成するにあたっては、山口県文書館の「アーカイブズガイド—学校教育編」を参考にしたほか、教育委員会からの指導助言や教育現場の意見も反映させながら作業を行いました。

2 学習教材の作成方針

- ・学習教材を作成するにあたっては、以下の5点を基本的な方針としました。

(1) 教科書の内容に沿ったテーマ設定と特色ある郷土資料の選定

- ・学習指導要領や教科書とリンクさせながら郷土の歴史を学ぶことができるよう、教科書の単元・内容に沿った形で、鳥取県の歴史に関するテーマ（トピック）を設定する。
- ・1つのテーマにつき、郷土資料を1～2点ピックアップし、その画像や内容を紹介する。
全国的な歴史を学ぶ中で、鳥取県の特色ある歴史を学習することができるような資料の選定を心がける。
- ・新鳥取県史編さん事業で撮影・作成した資料を中心に、関係機関（博物館等）が所蔵する古文書等の文献資料、考古資料、民俗資料、絵図、写真等も広く対象とする。

(2) 鳥取県の歴史を手軽に学べる簡潔でわかりやすい内容

- ・盛り込む内容は、メインとなる資料の「画像・本文」と「釈文」「意識」「解説」「参考文献」等とする。関連する資料写真や県内のゆかりの地に関する情報を掲載してもよい。
- ・文字資料には「意識」を付けて、内容を理解しやすくする。
- ・「解説」は資料内容の解説だけでなく、その資料を取り巻く歴史的背景や、その資料から浮かび上がる当時の鳥取県の様子についても言及する。
- ・利用者が鳥取県の歴史を手軽に学ぶことができるように、平易な文章で要点を簡潔にまとめたわかりやすいものとする。
- ・図や表を効果的に用いるとともに、固有名詞や難読文字には読み仮名を付して読みやすくする。

(3) ICT教育等にも対応した活用しやすい形での教材の提供

- ・ICT教育にも対応できるよう、オンラインでの公開とする。
- ・手軽に活用してもらえよう、1つのテーマ（トピック）をA4サイズ1枚のシートとし、1画面の中に全て収まるようなコンパクトな教材とする。

(4) 生徒の主体的で深い学びへの対応

- ・生徒が主体的に郷土学習に取り組めるよう、教材の中に「問いかけ」を盛り込んだり、関係資料のリンクを加えて学習に広がりを持たせる。
- ・郷土資料の原本画像や資料本文を掲載することで、生徒が郷土の歴史をより身近に感じたり、郷土の歴史像や過去の先人たちの営みを具体的にイメージできるよう工夫する。
- ・郷土史や歴史学に強い関心があったり、より専門的に学びたいという生徒のために、くずし字資料をそのまま掲載して釈文や読み下し文を加えたり、「参考資料」として関係する文献等を掲載する。

(5) 実践を踏まえた教材の質的向上と取組みの継続

- ・「使える」教材となるよう、教育現場の意見を取り入れたり、授業等での実践や教員との連携を通じて、随時、教材内容を見直し、質の向上や改善に努める。
- ・継続的に教材作成に取り組むことによって、教材の点数を増やし、郷土の歴史に対する生徒の学びの機会をより多く提供できるように努める。

3 実施体制について

- ・本事業を実施するにあたっては、教育委員会とも連携しつつ、現職教員や教員経験者を委員に任命して教材を作成するとともに、その内容や公開の方法、学校現場での活用のあり方等について検討する会議を年数回開催しました。各教材の作成担当者は各教材シートに記載しています。

【令和4年度 検討会議メンバー（委員）と教材作成担当者】

氏名	所属等	担当分野	備考
岡村 吉彦 (座長)	県立鳥取東高等学校教諭、 元県史編さん室長	中世	令和2～3年度に事務局 令和4年度より座長
吉田 学	県立青谷高等学校教諭	考古	令和4年度より参加
前田 孝行	県立鳥取西高等学校教諭 元県史編さん室専門員 (近代担当)	近代	令和2年度より参加
花原 慧史	鳥取市立湖東中学校教諭	近世	令和2年度より参加
小山富見男	元鳥取敬愛高等学校長、 鳥取大学非常勤講師 元県史編さん委員（現代部会長）、 鳥取地域史研究会長	近現代	令和2年度より参加
横山 順一	県教育センター GIGA スクール推進課長	アドバイザー	令和3年度より参加
奥田 信行	県教育委員会高等学校課指導主事	アドバイザー	令和2年度より参加
柳楽 利明	県立公文書館長	事務局	令和3年度より参加
石田 敏紀	県立公文書館課長補佐 元県史編さん委員（古代・中世、現代）	事務局、 古代・現代	令和2～3年度に座長 令和4年度より事務局